【愛知県】理数系人材養成に向けた文理横断型教育の拠点形成

愛知県立松蔭高等学校
（全日制/普通科）

○ 製造業日本一である愛知県においては、産業を担う理数系人材の育成が喫緊の課題
○ 高等学校においては、文理を横断する視点から新たな価値を創造するイノベーション人材の育成が急務
○ 期待価値理論に基づく「デジタル」×「アート」×「アントレプレナーシップ」によって、新たな価値を創造するイノベーション人材を育成
○ 価値創造できる理数系人材の育成のためのカリキュラムを支える、高校版インキュベーション施設を整備

人材育成の現状・課題

【愛知県における現状・課題】
・ものづくりの集積地であることや、今後の産業構造の変化を見据えると、AIやデータサイエンスを駆使できる理数系人材が愛知県においても大きく不足することが予想されている。
・県立高等学校における理系選択者と文系選択者の割合は４：６となっており（2025年度県調査より）、理系選択者の割合は他県と比較して高い状況にあるが、理系に興味がありながらも文系を選択する生徒や、文系と理系どちらにも興味がある生徒が文系を選択する傾向が見られる。
・安定志向な県民性から、新たな価値を創造できるイノベーション人材の育成が必要である。

＊製造品出荷額　　４７年連続日本一
＊労働力人口　425万人（2020年）→388万人（2020年）（37万人減）
＊デジタル化が進んでいる企業の割合
19%（デジタル人材の不足）
＊理系選択率
学校間の差が大きい、女子生徒の選択率が低い

具体の事業内容

【拠点における主な改革目標】
・企業、大学等との連携と、期待価値理論、感性や起業家精神を育み、価値創造できる理数系人材を育成するカリキュラムモデルの確立
【取組内容・創出するパイロットケース】
（教育改革の内容）
・期待価値理論に基づく学びの転換により、女性生徒を含む理系選択率を向上させる
・「デジタル」×「アート」×「アントレ」によって、価値創造できる理数系人材を育成する
（施設・設備の整備）
・実験実証、プロトタイピング、共創・協働、社会実装を一体的に行える高校版インキュベーション施設を整備し、価値創造できる理数系人材の育成拠点とする。
【他校への普及方策】
・教科「理数」における、期待価値理論と「デジタル」×「アート」×「アントレ」 のモデルパッケージを構築し、教科「理数」の開設とともにモデルパッケージを順次普及させる。

実施体制

協力校	旭丘高校、明和高校、一宮高校、半田高校、豊田西高校、刈谷高校、岡崎高校、時習館高校、瑞陵高校、春日井高校、大府高校、岡崎北高校、豊丘高校
主な連携機関　等	名古屋大学、名古屋工業大学、愛知教育大学、藤田医科大学、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、名城大学、トヨタ紡織株式会社、日本メナード化粧品株式会社、STATION Ai 等

概要図

